

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成16年10月28日(2004.10.28)

【公開番号】特開2001-272485(P2001-272485A)

【公開日】平成13年10月5日(2001.10.5)

【出願番号】特願2000-82606(P2000-82606)

【国際特許分類第7版】

G 0 4 G 1/00

G 0 5 G 1/02

H 0 1 H 13/06

H 0 1 H 13/14

H 0 5 F 3/02

【F I】

G 0 4 G 1/00 3 0 5 B

G 0 5 G 1/02 B

H 0 1 H 13/06 B

H 0 1 H 13/14 A

H 0 5 F 3/02 T

【手続補正書】

【提出日】平成15年10月14日(2003.10.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

A . 本実施形態

図1は本実施形態に係る電子腕時計100の正面図であり、図2は、図1に示す電子腕時計100のA-A'線視断面図である。

図1に示すように、電子腕時計100は、ステンレス製の胴101と、図示せぬ裏蓋と、胴101と裏蓋により形成される内部空間に収容される電子部(図示略)と、時計バンド300とにより大略構成されている。なお、請求の範囲の欄に記載する機器ケースは、胴101と裏蓋とにより形成されたものをいう。

このような構成の電子腕時計100は、現在時刻等を表示する表示部110と、時刻の設定変更等の操作を行う操作部120等を備えている。

表示部110は、液晶パネル等により構成されており、日付及び時刻をデジタル表示すると共に、スケジュールのコメント等の情報を可視表示する。

操作部120は、胴101の左右の側面に配設されたレフ茨イツチL、ライト茨イツチR、及び胴101の前面に配設されたフロント茨イツチF11、F12とにより構成されている。

電子腕時計100を所有するユーザは、操作部120を構成する各茨イツチを操作することにより、表示部110に表示される表示モードの変更(例えば、時刻表示モードからスケジュール表示モードへの切り換え等)、スケジュールの日時とコメントの設定等を行う。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図面の簡単な説明

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図面の簡単な説明】

【図1】電子腕時計100の正面図である。

【図2】本実施形態におけるフロントスイッチF11の構成を示す図である。

【図3】本実施形態におけるフロントスイッチF11のボタン部10を押下した状態を示す図である。

【図4】従来のフロントスイッチF1を説明するための図である。

【図5】本実施形態におけるフロントスイッチF11を説明するための図である。

【図6】本実施形態におけるフロントスイッチF11を説明するための図である。

【図7】応用実施形態に係る電子腕時計100aの側断面図である。

【図8】従来のフロントスイッチF1の構成を示す図である。